

〈解答〉

① (1) -7 (2) $9ab^2$ (3) 1 (4) $-\sqrt{5}$ (5) 7

② (1) $x = 1$

(2) $a(x+2)(x-4)$

(3) $x = -2 \pm \sqrt{5}$

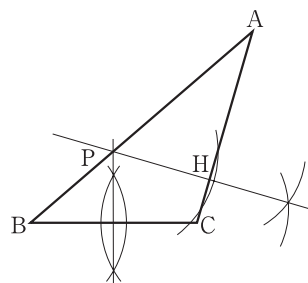
(4) $n = 7$

(5) $a = 60.5, b = 84.5$

(6) $\angle x = 106^\circ$

(7) $444\pi \text{ cm}^3$

(8) 右図



配点 各2点 ②(5)両解 26点満点

〈解説〉

① (1) $21 \div (-3)$

$$= -(21 \div 3)$$

$$= -7$$

(2) $(-6a)^2 \div 4ab \times b^3$

$$= 36a^2 \times \frac{1}{4ab} \times b^3$$

$$= \frac{36a^2 \times b^3}{4ab}$$

$$= 9ab^2$$

(3) $(x-3)^2 - (x-2)(x-4)$

$$= x^2 - 6x + 9 - (x^2 - 6x + 8)$$

$$= x^2 - 6x + 9 - x^2 + 6x - 8$$

$$= 1$$

(4) $\sqrt{20} - \frac{15}{\sqrt{5}}$

$$= \sqrt{2 \times 2 \times 5} - \frac{15 \times \sqrt{5}}{\sqrt{5} \times \sqrt{5}}$$

$$= 2\sqrt{5} - \frac{15\sqrt{5}}{5}$$

$$= 2\sqrt{5} - 3\sqrt{5}$$

$$= -\sqrt{5}$$

$$\begin{aligned}
(5) \quad & (2\sqrt{2})^2 + (\sqrt{3} - 2)(\sqrt{3} + 2) \\
& = 8 + \{(\sqrt{3})^2 - 2^2\} \\
& = 8 + (3 - 4) \\
& = 8 + 3 - 4 \\
& = 11 - 4 \\
& = 7
\end{aligned}$$

□ (1) $A : B = C : D$ のとき, $A \times D = B \times C$ となるので,

$$3 : 2 = (x + 5) : 4$$

$$3 \times 4 = 2 \times (x + 5)$$

$$2(x + 5) = 12$$

両辺を 2 で割って,

$$x + 5 = 6$$

$$x = 1$$

(2) 共通因数 a をくくり出して,

$$ax^2 - 2ax - 8a = a(x^2 - 2x - 8)$$

$$= a(x + 2)(x - 4)$$

(3) 左辺は因数分解できないので, 解の公式

$$x = \frac{-b \pm \sqrt{b^2 - 4ac}}{2a}$$

に $a = 1$, $b = 4$, $c = -1$ を代入して,

$$x = \frac{-4 \pm \sqrt{4^2 - 4 \times 1 \times (-1)}}{2 \times 1}$$

$$= \frac{-4 \pm \sqrt{16 + 4}}{2}$$

$$= \frac{-4 \pm \sqrt{20}}{2}$$

$$= \frac{-4 \pm 2\sqrt{5}}{2}$$

$$= -2 \pm \sqrt{5}$$

(4) $2.5 = \sqrt{(2.5)^2} = \sqrt{6.25}$, $3 = \sqrt{3^2} = \sqrt{9}$ より,

$$\sqrt{6.25} < \sqrt{n+1} < \sqrt{9}$$

よって,

$$6.25 < n + 1 < 9$$

となるので,

$$(i) \quad n + 1 = 7 \text{ のとき, } n = 6$$

$$(ii) \quad n + 1 = 8 \text{ のとき, } n = 7$$

(i), (ii) より, 最も大きい自然数 n は,

$$n = 7$$

(5) a は第1四分位数だから、得点の低かった方の6人の中央値となるので、

$$a = (58 + 63) \div 2 = 60.5 \text{ [点]}$$

b は第3四分位数だから、得点の高かった方の6人の中央値となるので、

$$b = (84 + 85) \div 2 = 84.5 \text{ [点]}$$

(6) 台形PD'C'Qは、台形PDCQを線分PQを対称の軸として線対称移動させた図形だから、

$$\text{台形PD'C'Q} \equiv \text{台形PDCQ}$$

よって、

$$\angle PQC' = \angle PQC$$

$$\angle BQC = 32^\circ \text{ より、}$$

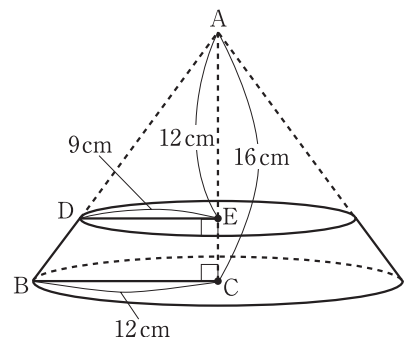
$$\begin{aligned} \angle PQC' &= (180^\circ - 32^\circ) \div 2 \\ &= 74^\circ \end{aligned}$$

ここで、 $AD \parallel BC$ より、平行線の錯角は等しいので、

$$\begin{aligned} \angle x &= \angle DPQ = \angle BQP \\ &= \angle BQC' + \angle PQC' \\ &= 32^\circ + 74^\circ \\ &= 106^\circ \end{aligned}$$

(7) 右の図のように、辺ACを回転の軸として $\triangle ABC$ を1回転させてできる立体の体積と、辺AEを回転の軸として $\triangle ADE$ を1回転させてできる立体の体積の差を求めればよいので、

$$\begin{aligned} &\frac{1}{3} \times \pi \times 12^2 \times 16 - \frac{1}{3} \times \pi \times 9^2 \times 12 \\ &= \frac{1}{3} \times \pi \times 144 \times 16 - \frac{1}{3} \times \pi \times 81 \times 12 \\ &= 768\pi - 324\pi \\ &= 444\pi \text{ [cm}^3\text{]} \end{aligned}$$



(8) $\triangle ABC$ の頂点B, Cから等しい距離にある点Pは、辺BCの垂直二等分線上にある。また、 $\triangle PAC$ の高さPHと辺ACは垂直である。よって、下の図のように、以下の手順①~⑦で作図するとよい。

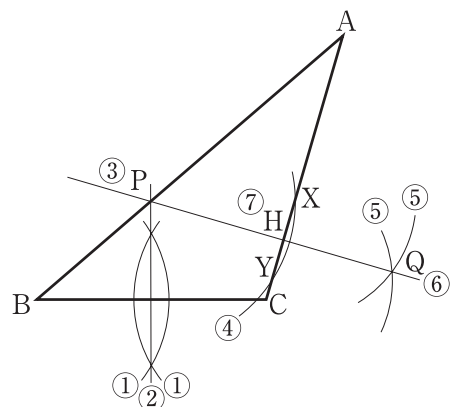
① 頂点B, Cをそれぞれ中心とする、等しい半径の円弧をかく。

② ①でかいた2つの円弧の交点を通る直線を引く。

③ ②で引いた直線と辺ABとの交点が点Pである。

④ 点Pを中心とする円弧をかき、辺ACとの交点をX, Yとする。

⑤ 点X, Yをそれぞれ中心とする、等しい半径の円弧をかき、その交



点の1つを Q とする。

- ⑥ 直線 PQ を引く。
- ⑦ ⑥で引いた直線と辺 AC との交点が点 H である。